

# ひと花かまがさき 芸術資料庵

## ひと花 新聞

第53号

平成29年12月1日  
発行 NPO法人釜ヶ崎支援機構  
ひと花センター  
〒557-0016  
大阪市西成区太子  
1-13-15  
電話 06-6649-7890

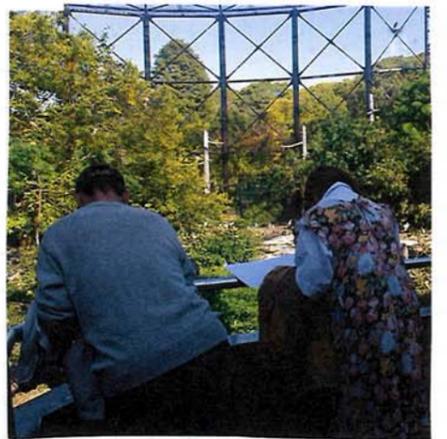
### かまがさきの人生から浮かび上がる

### 表現アーカイブ

日時 12月5日(火)～16日(土)

会場 ひと花センター (入場無料)

かつて日雇いのまちとして栄えた西成あいりん地域。今や高齢化が進み、孤立し生きがいを失った方々がいます。彼らの居場所やつながりをつくり、生きがいを取り戻し、さらに清掃ボランティアや農作業のほか、生きがいづくりの一つとして美術、書、詩、演劇など表現活動を行っています。  
様々な人生体験をしてきた彼らが表現する独自のな作品と、彼らと共に参加する表現プログラムを、ぜひこの機会に体験してみてください。



#### 【イベント】

12月9日(土) 10:00～14:00

『クリスマスゆめひろば』

毎月1回地域にか開放している”ひと花ゆめひろば”のクリスマス版。メンバーが来客される方をお迎えします。



今月の美術の野鳥は動物園へ鳥の絵を描きに行きよした。紅葉には少し早かったですが楽しい時間を過ごしました。鳥運は広がり園の中を食口も不自由せず友達も限られそうして生きて行くのが楽しいか食べ物で捜し大空を飛んで生きて行くのが楽しいのか少し考えました。今度動物園に行ったら野鳥に南ってみますよ  
なべさん

上田のフリーエッセイ

今回は冬の歌を皆々からよせ書きする事でした。いろんな冬の歌の中からは高英男の雪のふる竹をいそよりました。一人一人のしの一部を書いたおもしろい。最後は全愛でサイとしておかげでまると空にま暗い作風かかせいしました。ひと花センターにかおってますのむー友見に来て下さい。お返しは楽しいです。最後はゆるゆるの合唱しました。

12月5日(火) 13:00～14:30

『あっちゃんの会と壁画鑑賞ツアー』(西川勝・宮本友介)

肩をならべて、おもしろい話をする場  
哲学者・看護師などの肩書きをもちながら、釜ヶ崎のおっちゃんたちと肩をならべる西川さんと、阪大で統計学を教えながら三徳寮では識字教室にもなる宮本さん。ふたりを進行役に血行がよくなるくらい喋ります。ひと花センターに集合し、徒歩で利用者の壁画の鑑賞ツアーに出かけ、そこで行います。

12月6日(水) 9:30～12:30

『散歩の会』(石井聖美)

西成のすぐ隣にあるでんでんタウン。電気街として有名なまち、実は歴史あるまちなのです。知っているようで意外と知られていないでんでんタウンを大阪のまちに詳しいまち歩きガイドの石井さんと散歩します。ひと花センターで集合し、徒歩で向かいます。帰ってからその日の散歩を語り合しましょう。防寒対策をお忘れなく!

12月7日(木) 13:00～14:30

『美術の時間』(前川紘士)

潜在する表現力を発揮する  
様々な現場で活躍する美術作家・前川さんを講師に、スケッチ、版画、コラージュなど、古今東西の手法を試しながら、おしゃべりも楽しみながら、美術活動に取り組みます。  
今回は、ひと花センターを出発し、徒歩でまちのスケッチに向かいます。雨天時はひと花センター内で行います。

12月13日(水) 13:00～14:30

『詩の時間』(上田假奈代)

おしゃべりしながら、詩をつくって声にする  
他力本願に詩をつくる手法を編み出した上田さんを進行役に、なごやかで笑いのたえない詩の時間。質問して答えてくれたことを絵をかくように詩にします。さまざまな声心地よい朗読を聴き合しましょう。

12月16日(土) 13:00～14:30

『俳句の時間』(上田假奈代)

3人寄れば、思いよらぬ俳句に  
あたらしい俳句の作り方・合作俳句。詩人の上田さんが編み出したのは、3人が即興でつくる俳句。季語などには一切こだわりません。そして、かならず褒めるというルール。発表会では、さまざまな褒め方にてあいます。みんなで笑ってみましょう。

- \*開所期間中も利用者たちはプログラム活動を併行していますので、時間によって一部作品がご覧になれなかったり、スタッフの対応が出来ない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- \*表現プログラムで来所者多数の場合、参加できない場合があります。
- \*酒気帯びでのご来場は固くお断りいたします。

【ひと花句会】

天高く

来年こそは

タイガース

《政》

幾重にも

感謝しつつ

大海日

《なべさん》

年越しに

越せぬ想いを

胸に秘め

《貴和心》

古希近し

心は揺るる

秋桜

《赤鬼》

